

## 広島県病院経営外部評価委員会（平成29年度第2回）議事要旨

- 1 日 時 平成29年11月27日（月） 午後5時から6時25分まで
- 2 場 所 広島がん高精度放射線治療センター2階 大会議室
- 3 出席委員 谷田委員長，木原副委員長，塩谷委員，檜谷委員，平井委員，和田委員
- 4 議 題 平成28年度経営計画の取組状況の評価取りまとめについて
- 5 担当部署 広島県病院事業局県立病院課調整グループ  
TEL（082）513-3235（ダイヤルイン）
- 6 会議の内容

事務局から、配付資料について説明が行われた後に、平成28年度経営計画の取組状況の評価取りまとめに関する協議・質疑等が行われた。概要は、以下のとおりである。

### 【協議内容及び質疑応答等】

- (1) 平成28年度経営計画の取組状況に係る評価表（案）について（資料2-2）

自己評価と委員会評価が分かれている項目，委員会評価が分かれている項目を中心に協議等を行った。

（広島病院）

#### ①救急医療機能の強化（自己評価“○”，委員会評価“◎”）

委員：自己評価と委員会評価が分かれている点について、その理由を分かりやすくした方が良いのではないか。

広島病院長：下半期から二次救急の取組強化を図っており、上半期の数値が悪かった点で自己評価を低くしている。

委員長：委員会意見としては、下半期の取組を高く評価したと記載し、自己評価の意見については、“○”とした理由を分かりやすく記載してはどうか。

#### ⑤医療安全と質の向上（自己評価“○”，委員会評価“◎”）

委員：委員会意見に病院が自己評価を低くした理由（課題）を記載し、委員会評価としては、その課題解決に向けた取組姿勢を高く評価したという構成の方が読み手に分かりやすいのではないか。

#### ⑥患者サービスの向上（自己評価“◎”，委員会評価“○”）

委員：患者満足度調査の数値に満足してはいけない。調査のタイミングによって満足度は変わる。患者のためという意識を常に持ってもらい、他病院の様々な事例を研究され、より満足度の高い病院を目指してもらいたい。

委員：やや満足の方はやや不満な要素を持っており、そこをいかに改善するかが重要な取組みであり、やや満足の掘り起こしを行ってもらいたい。

委員長：患者満足度は基本的には高い所からスタートしており、ほとんどの病院が8～9割の高い満足度である。患者満足度はもちろんのこと、県下の開業医や二次医療機関，人材育成面であれば大学の満足度はどうであるか。3次医療機関の県立病院として、ここの満足度を高めていくことも大切な取組みである。

(安芸津病院)

①医療提供体制の強化 (自己評価“○”, 委員会評価“◎”)

委員：地域包括ケア病床を整備し、在宅への流れを作っているが、その中で訪問看護を強化し、利益を出していくことが病院の一つの大きな柱だと思っている。高齢化が進む中山間地域で必要な機能であり、民間がしっかりされているのであれば問題はないが、そうでなければ公立病院の役割だと思っている。

委員：療養病床や特養等の施設への入所が増えてきており、そもそもの訪問看護の対象者が減少している地域がある。安芸津地域もそういった動きがあるのではないか。

委員：民間を含めた訪問看護(介護)施設がどの程度あるか、それぞれどのような機能を備えているか、その中で安芸津病院のマーケットシェアがどの程度であるか、その辺りが分かってくれば、地域における訪問看護が十分であるか、強化していくべきかが見えてくると思われる。

⑥経営力の強化 (委員会評価“◎” or “○”)

委員：全体の稼働率が上がったことは評価でき、目標を達成したと考えた。

委員長・委員：DPCデータをどのように活用して稼働率が向上したのか、その点が具体的に言及されていない。

副委員長：今までになかった安芸津病院らしさを病院経営に出そうという動きが見え始めた。

委員：経常収支が前年度に比べ非常に改善しており、評価できる。

⇒ 各委員の意見を踏まえ、道半ばであると評価し、“○”とする。

⑧費用合理化対策

委員長：委員全員が“△”の評価をしているが、これから色々な取組ができると思われる。例えば、医療の質を高めることで医薬品の使用量を減らすことができ、医療の質の向上とコスト削減はリンクしている。

⑩収支改善・目標指標の達成状況 (委員会評価“○” or “△”)

副委員長・委員：経常収支が大幅に改善しており、評価できる。

委員：地域密着型を行いながら、いかに経営改善をするか、その要となるのは新規入院患者と訪問看護であり、この二つの目標指標が達成できていないのは、まだまだ取組むべきことがある。

委員：広島県内で在宅医療を支援する拠点(モデル)病院を目指すためには、訪問看護が目標を達成していないことは課題である。

委員長：収支については改善しているが、厳しめの評価とすべき。

⇒ 各委員の意見を踏まえ、“△”とする。

(2) 平成28年度経営計画の取組状況に係る評価報告書(案)について(資料2-1)

資料2-2で項目毎の評価を行った後に、評価の総括について協議等を行った。

○委員：広島病院の評価で、資金収支の内容が記載されているが、数値等の説明資料が添付されていないため、読み手に分かりにくいのではないかと。

⇒ 資金収支の記載を削除する。

(3) 来年度評価方法に関する意見について

○委員：「収支改善」と「目標指標の達成状況」を一緒に評価することが妥当であるか検証して欲しい。

また、「医療安全」と「質の向上」についても、表裏一体であるとは思いますが、それぞれを分けて評価した方が分かりやすいのであれば、分けることを検討して欲しい。

○委員：医療倫理について、評価の中に入れてもらいたい。

## 7 会議の資料名一覧

- 資料1 会議次第, 平成 29 年度のスケジュール
- 資料2-1 平成 28 年度経営計画の取組状況に係る評価報告書(案)について
- 資料2-2 平成 28 年度経営計画の取組状況に係る評価表(案)について
- 資料2-3 平成 28 年度経営計画の具体的取組状況について(広島病院)
- 資料2-4 平成 28 年度経営計画の具体的取組状況について(安芸津病院)
- 資料3-1 (参考資料) 平成 29 年度の取組状況について
- 資料3-2 (参考資料) 平成 29 年度上半期の経営状況について